

炭化ケイ素連続繊維の生産能力を大幅増強 (追加情報)

— 航空機エンジン部材向けの需要拡大に対応 —

昨年9月4日に発表いたしました「炭化ケイ素連続繊維の生産能力を大幅増強」について、炭化ケイ素連続繊維を量産する新工場の仕様を決定し、この度工場建設に着手する運びとなりましたので、あらためてお知らせします。

日本カーボン株式会社、GE社（本社：アメリカ）、およびサフラン社（本社：フランス）の3社合弁により設立した NGS アドバンストファイバー株式会社（本社：富山県）は、航空機エンジン素材としての需要増に伴い、既設工場の隣接地（約 11,000 m²）に約60億円を投じ、新たに第二工場を建設、2016 年末からの稼働を予定しております。最新の製造技術の導入により、原材料から紡糸、不融化（電子線照射）、焼成に至る一連の製造ラインを増強。特に高機能グレード製品である、「ハイニカロン®」「ハイニカロン®タイプS」の生産能力を現状の10倍にまで拡張いたします。

炭化ケイ素連続繊維は、千数百度の高温大気中においても耐熱性、耐酸化性に優れた繊維です。NGS アドバンストファイバー社は同繊維を、GE社(50%出資)とサフラン社(50%出資)による合弁会社であるCFM インターナショナル社が開発しているベストセラーのLEAP ジェットエンジン及びGE社が開発している大型旅客機用エンジン GE9X 向けのセラミック・マトリックス複合材(CMC)部品に供給します。CMCは軽量化・さらなる耐久性及び耐熱性を兼ね備える革新的なエンジン部材であり、航空機エンジンの燃費向上に大きく貢献します。LEAP エンジンは、民間航空機エンジンとして世界で初めて同素材を採用、2016年に実機搭載が予定されております。

世界の航空機エンジン市場では記録的な受注に基づく更なる需要拡大が見込まれており、今後も3社は積極的な設備投資により世界最大規模の生産体制の構築を目指してまいります。

新工場建設の概要（予定）

所在地	富山県富山市高内 1-1	操業開始	2016年末予定
生産能力	約 10t/年	設備投資額	約 60 億円
敷地面積	約 11,000 m ²	工場延べ面積	約 6,000 m ²
主要導入設備	電子線照射装置・焼成設備等		

NGS アドバンストファイバー社の概要

社名	NGS アドバンストファイバー株式会社		
資本金	富山県富山市高内 1-1		
設立	2012年4月	資本金	11.5 億円
株主	日本カーボン（50%）、GE社（25%）、サフラン社（25%）		
代表取締役	武田道夫	従業員	30名

＜本件に関するお問い合わせ＞

NGS アドバンストファイバー株式会社 管理部長 石本 渉
 TEL：076-467-0178 FAX：076-467-0528
 E-mail：w-ishimoto@ngs-advanced-fibers.com